

令和3年度 山陽小野田市 保健事業の実施計画

事業名	項目	令和3年度	令和2年度 (実績)
特定健診事業 被保険者を対象とした健康診査を実施し、結果に応じて保健指導に導くことで、疾病の早期発見と生活習慣の改善を図り、もって医療費の適正化に資する。山口県のモデル事業に参画し、令和2年度に特定健診を受診したもので、血圧、コレステロール等で受診勧奨判定値を超えながら、医療機関の未受診状態が継続しているものを対象とした県の受診勧奨後に受診が確認できない者に対して、個別に電話や訪問による再受診勧奨を行う。	歳出予算額	48,334千円	41,913千円
	評価指標		
	・ 集団健診実施回数	16回	7回
	・ 特定健診受診率	50.0%	34.4%
	・ 特定保健指導率	40.0%	3.5%
はり、きゅう施術補助事業 被保険者の健康増進のため、はり、きゅう施術費の補助（初検料 200円 1術700円 2術800円）を行う。	歳出予算額	1,920千円	1,323千円
	評価指標		
	・ 利用件数	1,800件	1,800件
がん検診事業 健康増進課が実施するがん検診について国保該当者の検診料を一部負担する。	歳出予算額	10,306千円	8,536千円
	評価指標		
	・ 集団健診の回数	18回	9回
	・ 胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診受診率	20.0%	19.1%
医療費通知事業 被保険者へ利用した医療費の明細を送付することにより被保険者の関心を喚起して、医療費適正化を図るとともに、不正請求の端緒とする。	歳出予算額	810千円	755千円
	評価指標		
	・ 発送回数	3回	4回
ジェネリック医薬品推進事業 ジェネリック医薬品について、被保険者に対し先発薬との差額通知書を送付し、意識啓発と利用率向上を図る。	歳出予算額	459千円	369千円
	評価指標		
	・ ジェネリック医薬品利用率	80.0%	79.0%
糖尿病性腎症重症化予防事業 国、県が策定した糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、本市の糖尿病性腎症の高リスク被保険者（対象者）を抽出し、重症化予防のための保健指導を行う。山口県のモデル事業に参画し、県版プログラムの定義に基づき、「未受診者」「受診中断者」を抽出し、県の受診勧奨後に受診が確認できない者に対して、個別に電話や訪問による再受診勧奨を行う。	歳出予算額	1,259千円	536千円
	評価指標		
	・ 保健指導実施回数	60回	58回
	・ 保健指導修了者数	10人	10人
	・ 検査値の改善率	60.0%	55.0%
こくほシェイプアップ事業 体脂肪率改善及び筋力向上並びに運動習慣の確立を図り、生活習慣病の予防を通じた医療費適正化を推進する。	歳出予算額	1,012千円	208千円
	評価指標		
	・ 事業受講者数	160人	31人
	・ 受講者の体脂肪率の改善率	80.0%	85.2%
	・ 健康づくりに関心を持った人の割合	100.0%	93.1%
脳ドック事業 脳疾患の早期発見、特に脳卒中の防止のため、30歳以上の国保被保険者が脳ドックを受診する費用のうち、およそ85%を助成し、受診者の自己負担額を抑えることで受診を促進し医療費の適正化を図る。	歳出予算額	2,115千円	1,175千円
	評価指標		
	・ 助成者数	90人	50人
歯周病検診事業 歯周病の予防は、歯・口腔だけでなく全身の健康の面からも重要であるため、歯周病の検診を行う。対象者は、30歳以上の国保被保険者とし、検診に係る自己負担額を無料とすることで、受診を促進し医療費の適正化を図る。	歳出予算額	1,650千円	366千円
	評価指標		
	・ 受診者数	500人	111人